

(報道発表資料)

2022年12月1日  
八戸工業高等専門学校  
東日本電信電話株式会社 青森支店

## サウナ繰り返し入浴におけるヒートショック予防法の科学的提言 を目的とした共同研究契約締結

八戸工業高等専門学校(校長:圓山 重直)と東日本電信電話株式会社 青森支店(支店長:磯崎崇、以下NTT東日本 青森支店)は、相互に連携し、バイタルデータを根拠としたヒートショック等の予防方法を立案し、適切な入浴方法を提言するための共同研究契約を2022年12月1日に締結いたしました。

### 1. 共同研究契約の名称

八戸工業高等専門学校とNTT東日本 青森支店とのサウナ入浴時のヒートショック予防方法に関する共同研究契約

### 2. 共同研究契約締結日

2022年12月1日

### 3. 共同研究の目的

八戸工業高等専門学校とNTT東日本 青森支店が、相互に保有するノウハウ・経験・アセット等を活用し、サウナ内での実験、並びにコンピュータによるシミュレーションを用いて、ヒートショック時のバイタルデータ変化を予測、サウナへの適切な入浴方法のモデル化を行う事を、本取り組みの目的とします。この提言により、安心してサウナに入浴でき、地域の方々の健康志向の増進に寄与する事を目指します。

### 4. 連携・協力事項

#### (1)ヒートショック時のバイタル変化に関する事

- (1-1) 従来までのバイタル変化等の知見共有
- (1-2) ヒートショックと熱中症、両予防方法の研究推進

#### (2)バイタルデータ蓄積・解析技術に関する事

- (2-1) バイタルデータ蓄積方法の検討 (IoTデバイスの活用)
- (2-2) 深部温度、皮膚温度変化の予測プログラムの開発

#### (3)サウナに関する事

- (3-1) サウナイベントの実施検討
- (3-2) サウナ内の測定環境の知見共有
- (3-3) サウナと睡眠の知見共有

## 5. 各者の役割

### 八戸工業高等専門学校

- ・バイタルデータに関する知見提供
- ・バイタルデータ予測モデルの開発

### NTT 東日本 青森支店

- ・IoT デバイス等、デジタル技術を活用したデータ取得
- ・スリープテック事業を通じたサウナと睡眠の相関に関する知見提供

## 6. 今後の展開

本取り組み開始以降、八戸工業高等専門学校とNTT 東日本の意見交換会を通じ、各々のアセット・知見・ノウハウを共有し、データ収集方法や、バイタルデータの解析方法等の知見を共有致します。そして、多角的な視野で本研究のアプローチ方法を検討致します。特に、アセットの観点では、NTT 東日本で使用している IoT デバイスを使用し、サウナ内での実証実験を通じて、効率的なバイタルデータの収集を検証致します。その後、地域の方々にも、被験者として同意を得たうえで参加頂く、サウナイベントの企画・実施も予定しております。

八戸工業高等専門学校とNTT東日本 青森支店は、本取り組みを通じ、地域の方々の健康的な生活基盤の充実に努め、住民の方々が生き生きと暮らせる社会の実現を目指して参ります。